

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
健康・福祉	1	物価高騰対策について	共通	<p>印西市は、地方交付税の不交付団体であり、非常に財政が豊かな自治体だと思います。ですが、私が見たところでは、ハコモノ、つまり施設整備などのハード面には多くの予算が使われているのに対し、生活支援や教育などのソフト面にはあまり予算が回っていないように感じます。</p> <p>たとえば、ここコスモスパレットの整備には90億円の当初予算に加え、5億円の増額で合計95億円が使われています。大変な金額です。</p> <p>今は物価高騰が続いていて、市民の暮らしは本当に苦しくなっています。市が現在実施しているソフト面での支援は、非課税世帯向けの対策に限られている印象です。</p> <p>今日のニュースでも、お米5kgが4,000円を超えたという報道があり、16週連続の値上がりだそうです。こうした現状を踏まえ、ハード面もちろん大切ですが、ソフト面の対策が明らかに不足していると思います。今後、こうした生活実感に寄り添った施策をぜひ充実させていただきたいです。</p>	<p>物価高騰への対策は、私自身も非常に重要だと考えています。現在、市が取り組んでいるのは「市民サービスの向上」です。たとえば、先ほども触れた給食費の無償化だけでも、年間で約5億円の追加支出が市から行われています。また、移動や交通に関する支援についても、数千万円規模の予算を投じている状況です。こうした取り組みを通じて、他の自治体よりも少しでも良いサービスを提供することで、地域の皆さんの生活の負担が軽減されていくような方向で進めていきたいと考えています。</p>	—	全課
まちづくり	2	コスモスパレットについて	共通	<p>コスモスパレットはいわゆる「ハコモノ」ですね。総事業費95億円。私は当初の資料も持っていますが、令和3年4月9日、まだ現市長が就任される前の段階で「千葉県ニュータウン中央複合施設整備事業（仮称）」として計画があったんです。市長は、この計画書、読まれているのではないのでしょうか？ 私はこれ、法令違反だと思っています。関係法令を遵守すると明記されているにもかかわらず、いまだに違反がある状態なんです。</p> <p>まず、この管理者はシダックスで民間委託されていますが、「消防法」に則った消防計画が未作成・未提出。これは重大な違反です。さらにこの施設は「劇場」に該当します。にもかかわらず、火災予防条例第39条で定められている「収容定員の表示」がされていない。これは収容定員を超えていたかどうか以前に、表示がない時点で違反なんです。これでは法治国家としての基本が守られていないように感じます。</p>	<p>消防法に関するご指摘についてですが、まず消防計画については、今年2月末に提出を済ませており、消防署からも承認をいただいています。ですので、現時点では正式に策定された状態にあります。次に、収容定員の表示などについてですが、おそらくご指摘の趣旨は「法律上、定員表示は必須ではないか」という点かと思います。印西市消防の見解としては、現状の施設運用は合法であるという判断がなされています。もちろん、ご不満やご懸念があることは理解しています。ただ、一般論として申し上げますと、印西市の消防は他の自治体と比べても比較的厳しい運用をしているという印象を持っています。実際、他の自治体で事業をされている方々からも「印西は厳しい」と言われることがあります。その中で、消防署としても自らの解釈に基づいて「問題なし」と判断している以上、私としてもその判断を尊重したいと考えています。</p>	—	生涯学習課
まちづくり	3	公共施設の整備について	共通	<p>公共施設にもいろいろな種類がありますので、何もかも民間に委ねるのではなく、公共施設の中でもしっかり個別に考えていただけたらなと思っています。</p>	<p>おっしゃるとおりですね。どちらかというと、収益を生み出すような性質の施設については、民間の力をお借りすることが適していると思っています。このエリアでも、実は隣に整形外科ができる予定なんです。そこから上がってくる売上の一部、つまり地代は市に入ってくる仕組みになっています。そうした意味でも、地域の賑わいづくりに関しては、主に民間の皆さんのお力をお借りして進めていきたいと考えているところです。</p>	—	資産経営課
まちづくり	4	データセンターについて	共通	<p>印西市は他の自治体と比べても比較的財政が豊かで、固定資産税の税収がしっかり入ってくると感じています。これは、データセンターの影響もあるのではないかと思います。収入面だけでなく、人口増加という面でも、データセンターは印西市にとって良いメリットをもたらしているのではないのでしょうか？ 一方で、少し前の説明にもありましたが、千葉ニュータウン中央駅前など、生活圏内にデータセンターが建設されるケースも出てきています。市長もSNSで考えを述べられていましたが、改めて、こうした生活圏内への立地についてどのようにお考えか、お聞かせいただければと思います。また、今後市としてどのような対応が可能なのか、現段階で考えていることでも構いませんので、話せる範囲で教えていただけたらと思います。</p>	<p>今、ひとつ大きな問題として、駅の近くの生活圏の真ん中でもデータセンターのような施設が建てられる状態になっています。いわゆる「商業地域」と呼ばれる、本来であればお店や商業施設、あるいはオフィスがあるべき場所に、そうした施設が建てられるわけです。データセンターは分類上「事務所」と同じ扱いになります。つまり、オフィスと同じカテゴリーなんですね。でも、実際には工場に近いような存在なのではないか、そのように私自身も感じています。</p> <p>そこで、私が市長に就任してから取り組みたいと思っていることが、各エリアごとに「どんな機能や施設があるべきか」を改めて描き直し、その上でルールを作り直すことです。具体的には、都市計画課が所管する地区別の計画や、それを越えて条例などを活用して、ルールを整備していきたいと考えています。ただ、すでに進行している案件については、ルールの遡及適用が難しいことも承知しています。とはいえ、地域の皆さんに寄り添った形で、事業者の方にも検討をお願いしたいと思っています。我々としても、そうした要望をしっかり伝えていきたいと考えています。一方で、事業者の方々に土地の所有権や活用する権利があることは当然理解しています。ですので、どうか対話の中で妥協点を見つけれたいいなという思いも持っています。この問題には、私自身も非常に頭を悩ませているところです。土地の利用を制限するというのは、所有権という人の権利に関わることなので非常に難しい、だからこそ、時間がかかるんです。正直なところ、こうした対応は、本来であればもっと早く、先を見越してやっておくべきだったと思っています。ただ、それを今言っても仕方がないので、今できること、目の前の課題に対してできることは限られているかもしれませんが、何とか対応していきたい。そして長期的には、先ほど申し上げたような地区計画や条例などをしっかり活用しながら「あるべきまちの形」に向けて、まちのルールを定めていきたいと考えています。</p>	—	都市計画課
まちづくり	5	データセンターについて	共通	<p>データセンターの話ですが、印西市には景観計画が定められているはずですが、その計画に沿っていないような建物が、こんなに簡単に建てられてしまっているのでしょうか。イルミライの取り組みについては、どんどん進めていただけて構いません。ただ、その前に、駅前に50メートル四方の壁のような建物、つまりデータセンターができてしまうわけです。そんなまちづくりで本当にいいのでしょうか。もちろん、これは前市長の時代に決められたことかもしれませんが、でも、今の市長としてできることは、私はまだまだあると思っています。たとえば流山市では、市長が変わってから都市計画が見直され、今では「住みよいまち」として評価されています。印西市も、そうした点では評価が上がってきていると思います。それなのに、駅の真ん前に突然50メートル四方の壁のような建物ができてしまう、それで本当にいいのでしょうか。確かに難しい問題かもしれませんが、私は諦める必要はないと思っています。やり方はきっとあるはずですよ。</p>	<p>景観条例について、条例に適合していないものについては、当然ながら認められません。そこはしっかりと、条例を守っていただくということになると思っています。ご指摘の場所は、北口から徒歩5分の距離で、しかもメインストリート沿いに位置していますので、非常に重要なエリアであることは私も十分に承知しています。市としても、できることを模索しながら対応を進めてまいります。状況に進展があれば、随時共有させていただきたく思いますので、ぜひ市民の皆さんからもさまざまなご意見をお寄せいただければと思っています。それが、私たちとしても非常に大切な取り組みのひとつだと考えています。</p>	—	都市計画課
まちづくり	6	データセンターについて	共通	<p>データセンターそのものには私は賛成です。ただ、あの場所に建てることには反対です。これまでのようにビジネスモールなどは、住宅地ときちんと分けてゾーニングされていました。それに対して、町の中心部にあのような施設が建てられることには強い違和感があります。市長がSNS「X」で早々に反対を表明されたことには、非常に敬意を持って拝見しました。今後の行動にも期待しています。ただ一方で、これほど重要な案件について、日経新聞では「以前より相談が進められていた」と報じられています。市長はこの計画について、いつ知ったのでしょうか。市長就任時点で、まちの姿を大きく変えるような案件について、担当者からの引き継ぎはなかったのでしょうか。確かに、法律の遡及適用は難しいかもしれませんが、しかし、コンプライアンスの問題もあります。衆参両院の環境委員会では、経産省の審議官が「データセンターの建設は地域との調整が大前提」と発言しています。その前提が整っていない計画には、私たちは断固反対します。たとえば、前市政の判断がどうであれ、市議会でも反対決議を出すこともできますし、新潟県巻町のように住民投票条例を制定して、住民の意思を示すことも可能です。今後、この計画を阻止するために、どのような対応を考えておられるのか。可能な範囲で教えていただければと思います。</p>	<p>まず、計画を知った時期について、具体的な日付は申し上げられませんが、就任後しばらく経ってから、昨年の後半でした。従来の市役所では、ルール通りに手続きが進んでいる案件は市長に報告されないという慣例があり、今回もその流れだったと思います。職員を責めるつもりはなく、これまでの体制の中で対応していた結果だと受け止めています。</p> <p>ただ、今回の件を受けて、藤代市政では「まちの将来を見据えた判断を優先し、必要な案件は全て市長に報告するように」と、部長以下すべての職員に伝えました。今後は体制が変わっていくと考えています。次に、計画への対応についてですが、行政には公平性と中立性が求められます。法治国家として、現行の法律を遵守する必要があります。現在、データセンターが「事務所」として扱われることに違和感があるという声もありますが、これは法律の不備ではなく、時代の変化によって注目されるようになった結果です。私たちも国政レベルで問題提起を行っており、今後法律が改正される可能性もあると考えています。ただ、現行ルールの中で進行中の事業を阻止することは難しく、行政としての立場上、慎重な対応が求められます。今後は景観条例など既存のルールを遵守していただきながら、事業者との交渉・調整・対話を重ねていく方針です。明確な答えにはなっていないかもしれませんが、現時点でお伝えできることは以上です。</p>	—	都市計画課
まちづくり	7	データセンターについて	中央北	<p>中央駅北口のデータセンターの件なんですが、これは絶対反対しなければいけない。なぜかというと、もうこれ以上の発展がなくなってしまうんですね。どう考えても、あそこハコモノがどんと座ったら、まちの計画から発展性が絶対なくなってしまうので、何とかしてうまくいくようにしていただきたいなと思います。</p>	<p>重い言葉として受け止めさせていただきます。ぜひ市の方でも意見募集していますので、声を上げていただければと思いますし、あとはこれから事業者の方でも地域の説明会を予定されていると伺っていますので、その場でも直接皆さんからの想いをお伝えいただけたらありがたいかなと思います。</p>	—	都市計画課
まちづくり	8	データセンターについて	中央北	<p>千葉ニュータウン中央駅前のデータセンター建設についてですが、住民として30年以上、何ができるのか楽しみにしていました。公園など市民が憩える空間ができればと期待していましたが、無機質な施設が建つことに大きな落胆を感じています。今後、印西市の魅力が損なわれ、人口減少につながるのではと心配しています。</p>	<p>データセンターについては、ご指摘の内容をしっかりと受け止めさせていただきます。</p>	—	都市計画課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
まちづくり	9	データセンターについて	共通	初めてタウンミーティングに参加しましたが、本当にいろいろな情報が得られてよかったです。ぜひ今後も続けていただきたいと思います。データセンターについてですが、東京電力の供給上限がある中で、あと何棟造れるのか、税収の増加がどの程度あるのかが気になります。地方交付税がもらえない状況では、単純に喜べる話ではないと聞きました。ただ、市長が「甘んじることなく考えていく」とおっしゃっていたのは重要なことだと感じました。良い政策を進めたくても資金がなければ動けない。だからこそ、成田空港に近い立地を活かして外資系企業の誘致は大賛成です。そうした取り組みはプロジェクトチームを作って、市長によるトップセールスなどで推進していただきたいです。データセンターの場所について、私も最近知って驚きました。もっと早く市民に情報が伝わる仕組みがあれば、意見も早く反映されるはず。もし撤回が可能なら、公園など市民が憩える空間にしてほしいという願いもあります。法的に難しい面はあるかもしれませんが、少しでも市民が使えるスペースの提案や、条例で対応できるなら早めの整備をお願いしたいです。	今後のデータセンターの棟数については企業秘密もあり明言はできませんが、グッドマンの施設や牧の原駅北口、印旛地区など、すでに複数の建設計画が公表されています。地域未来投資促進法の活用によって、従来は建設困難だった山林地帯にも施設が進出する見通しです。税収は増える可能性があるものの、サーバーなどの償却資産は数年で価値がゼロになり、税金も同様に減少してしまいます。市ではその補足方法を模索しており、一本足の依存体制ではなく、他産業を誘致する必要性を感じています。ご提案いただいたようなプロジェクトチームの構想も賛同しており、人員体制を強化しながら進めていきたいと思っています。また、今回の立地に関して、現行ルールでは、情報公開はどうしても遅れてしまう状況です。今年度中に駅周辺や生活導線上への立地を制限するルール改正を進める予定です。まずはこうした施設の抑制から着手し、都市計画の土台を整えたいと考えています。	—	都市計画課
まちづくり	10	クリーンセンターについて	中央北	印西クリーンセンターが吉田地区にいずれ移るとのことですよね。その跡地の利用をどうするか。そこは千葉ニュータウンとしてのシンボリックな場所ですから、慎重に考えていただいて、何か良い方法を考えていただきたいと思っています。	クリーンセンター、3年後には吉田地区に移って、駅前の一等地が空くわけですね。クリーンセンターについては環境整備事業組合とあって、印西市、白井市、栄町の3市町でできている団体が運営していますが、場所は印西市にあります。現在のクリーンセンターは非常に大事な場所だと思っています。私としては、職住近接、働く場所と住む場所が近いまちということの一つのきっかけにできないかなという想いは持っています。当然ながら、民間の方々へのニーズを踏まえてですけれども、なるべく市民の方にお役立ちできるような、そうした機能を整備すべく、組合の方のトップも私ですし、市長も私でするので、それはしっかりと同じ方向を向いて進めていけるようにしていきたいと思っています。	—	企画政策課 クリーン推進課
まちづくり	11	印西市の可能性について	共通	今、世界情勢を見渡すと、トランプ政権の影響もあって移民政策が厳しくなり、アメリカから優秀な高度人材が離れつつある状況です。これは、印西市にとって好機かもしれません。シリコンバレーは中国・インド出身の移民が中心となって発展しました。そうした人材が今、アメリカを離れる中で、日本の中で新しい受け皿をつくとすれば印西市が「日本版シリコンバレー」を目指せる可能性があるのではと感じています。そういった視点から、高度人材の受け入れ体制の整備も検討すべきですし、教育面でも効果は期待できます。市長が推進されているデジタル教育では、原山小が世界大会に出場するなど実績もありますが、世界標準の教育環境をつくるには、外部の優秀な人材を活用することで効果的な取組が進められると思います。	印西市の可能性として、海外の高度人材をどう取り込むかは非常に重要です。印旛日本医大駅から成田空港まで約20分とアクセスが良く、外資系企業の研究拠点や本社機能の誘致にも適した立地です。土地は民間所有ですが、企業誘致に向けて市としても動いていきたいと考えています。ただ、働く場所だけでは不十分で、教育環境や多文化共生の支援も不可欠です。現在、インド人エンジニアが西葛西から通勤している背景には、インターナショナルスクールの存在があります。印西でも、教育や生活支援を含めた一体的な整備が必要であり、来年度に向けて計画策定を進めています。インターナショナルスクールは日本人にも人気があり、印西の子どもたちにとって新たな教育の選択肢になると考えています。	—	経済振興課 教育総務課 企画政策課
まちづくり	12	公園づくりについて	共通	まちづくりという観点から、先ほどの公民連携、パークPFIについてお伺いしたいと思います。その説明の中で、花の丘公園でしたつけ、カフェの併設だったりという事例もある中で、具体的に計画されていること。千葉公園に最近行ったんですけど、昔何もなかったところがすごくきれいになっていて、あのような千葉公園のような感じになると、20代や家族連れも含めて多いなという印象を受けるので、そういうきれいな公園が印西市にもあるといいなと思っています。	公園の公共空間の利活用については、今年、新しいチームを手挙げ制で募って検討を始めています。地域の方がお店をやる場所が印西には少ないので、そういう場所にはできないかと思っています。もちろん、事業をやる方のニーズもありますが、個人的にも必要性は感じています。	—	都市計画課
まちづくり	13	印旛日本医大駅周辺のまちづくりについて	印旛	千葉ニュータウンとか印西牧の原とか多くの商業施設がある中で、比較的印旛日本医大の周辺にはお店が少ない。建物ができるのかと思うと、東横インとか老人ホームとか、地域住民としてはガッカリする。印旛日本医大の周辺、今後のまちづくりとして高い建物や商業施設は建たないと思うんですけど、一方でちょっとご飯が食べられる場所ですとか、価格帯の高くないファミリーレストランのようなものがあるといいなと地域住民として思っているの、その辺のまちづくりを今後どのように進めていくのか、お考えをお聞かせください。	印旛日本医大駅周辺は、私も生活圏なので少し思うところがあります。駅前には医療機器の博物館がありますが、あそこは市が所有している建物で、もともと消防署でした。ああいった場所を民間の力も借りながら活用できたらと考えています。特に日医大駅周辺はお店が少ないと常々感じているので、どんな絵が描けるか検討を進めたいと思っています。皆さんからも意見をいただけたらうれしいです。あのエリアには、日医大が所有してはまだ開発されていない土地もありますし、印旛中央地区という100ヘクタールほどの区画整理事業も潜在的には残っています。少し時間がかかる話ではありますが、病院があり、ニュータウンがあり、自然も近いという場所なので、「健康」は一つのキーワードになるのではと思っています。とはいえ、よく言われるのは「お店が少ない」という声なので、選択肢を少しでも広げられるよう取り組んでいきたいと思っています。	—	都市計画課
市役所づくり	14	政策アドバイザーについて	共通	「未来への投資」の最後のスライドの部分なんですけど、市長の説明の中に「政策アドバイザー」という項目がありましたよね。そのスライドの真ん中あたりに公共施設マネジメントの「効果的・効率的推進」という文言がありました。ただ、PFIについてはさらっと流されてしまった印象があって、もう少し具体的に話を伺いたいと思っています。実際に、どのような公共施設を対象にしているのか、どんな形でPFIを活用しようとしているのか、具体的な事例や検討中の施設などがあれば、ぜひ教えていただけませんか。	今回の政策アドバイザーは、従来の役割に近い立ち位置で入っていただいています。ただ、より多くの案件に伴走しながら関わっていただきたいと考えています。具体的には、木下駅前のにぎわい広場、旧デキシー跡地など、広場として整備されている場所に、まだまだ利活用の余地があると思っています。民間の力を借りて、より良い活用ができる可能性もあるでしょう。また、市内には多くの公園があります。そこに民間施設を併設する「パークPFI」のような手法で、誘致を進めていきたいと考えています。さらに、公共用地の中で最も多いのは道路です。イルミライ印西のような事例もありますが、こうした公共空間の利活用についても、アドバイスをいただきたいと思います。他にも、全天候型で子どもたちが遠足を楽しめるような施設など、既存の民間施設と連携して整備することも検討しています。ハコモノではなく、公民一体で整備する方向性です。こうした取り組みは、主要なものだけでも5〜6件ほどあります。さらに、市内の公共施設を一度全てリスト化し、利活用の可能性を具体的に検討していきたいと考えています。	—	資産経営課
市役所づくり	15	人材育成について	共通	千葉ニュータウンには優秀な人材がたくさんいらっしゃると思うんです。民間の方々のお力も借りながら、市の教育や職員の育成を進めてほしいなと。それが、仕事を通じて人が成長することにつながると思っています。	おっしゃる通りですね。シニア世代を含め、たくさんの方々の知識や経験をお持ちの方々がいっぱいいます。その力を市政に活かしていけたらと思っています。実際、議事録づくりに民間の方をお迎えしていますが、これも皆さんの声をしっかりと政策に活かすための大切な作業なんです。	—	人事課
市役所づくり	16	人材派遣について	共通	中央省庁などに職員を積極的に派遣していただきたいですね。そういう経験を経て、印西に戻ってきてくれれば、より先進的な取り組みができるはずなんです。	現在、霞が関にも1名、県には3名派遣しています。県については、これまで1名だったところを今年度は3名に増員しました。これは公民連携や専門性のある分野を学んできてもらいたいという思いから、県庁への派遣人数を増やしたものです。国への派遣もさらに増やしたいですし、将来的には民間企業にも職員を出向させたいと思っています。やはり、行政と民間とは使う言葉や考え方がかなり違います。だからこそ、たとえ短期間であっても、民間の経験を一度でもすることで物事の見え方が大きく変わるはずなんです。そういった意味でも、これから積極的に民間への派遣も進めていきたいと考えています。	—	人事課
市役所づくり	17	決算説明について	共通	予算よりもむしろ「決算」の説明が市民にとって重要なものでは。執行内容が分かるのが決算なので、忙しい時期かもしれませんが、ぜひ時間を取っていただきたいと思っています	決算説明についてもご指摘の通り非常に重要ですので、しっかりと情報をお届けできるようにしたいと考えています。	—	財政課
市役所づくり	18	副市長人事について		副市長人事について一言。今回は市長と新しい副市長の若い2人体制で、エネルギーがあり、強力な布陣と感じています。一方で、調整力や行政経験の面では不安も残ります。経産省での在籍が3年弱、市議としても1年程度ということで、まだ経験が浅く感じられる部分もあります。だからこそ、今後副市長にはご自身の力を存分に発揮し、調整役としての活躍に期待したいと思っています。	副市長体制については、若い2人の副市長がスピード感を持って市政を前進させる役割を担っています。染谷副市長と渡邊教育長というベテラン2人が調整役として支えており、さらに元部長経験のある職員が野崎副市長と各課をつなぐ役割を担っています。若さゆえの課題もありますが、こうした体制を整えることで「印西市役所は良くなった」と市民に感じてもらえるよう努力していきたいと考えています。	—	人事課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
市役所づくり	19	入札制度について	共通	<p>印西市では入札案件が多くありますが、落札率について気になる点があります。一般的に95%以上の落札率は不自然とされることもあり、実際に97%、98%、中には100%という案件も見受けられます。私たちの税金が使われている以上、こうした高落札率の案件については、どのようなチェック体制があるのか、しっかりと確認していただきたいと思っています。実際、私の友人が落札率の異常さを指摘した案件では「最終的に適正に落札された」との回答がありました。その落札率は99%でした。一般的には考えにくい数字です。ですので、今後の行政運営においては、落札率の妥当性について厳しく監査していただきたいと思っています。監査担当の方もいらっしゃるはずですので、ぜひご対応をお願いしたいです。</p> <p>また、落札業者の所在地について、印西市外の業者が落札するケースが多く見受けられますが、私たちの税金が使われている以上、印西市内の業者が落札すれば、その分税金として地域に還元されることとなります。難しい面もあるかもしれませんが、落札率の問題と併せて、地元業者への配慮についてもぜひご検討いただきたいと思ます。</p>	<p>落札率については、私も全件チェックしています。実際に見ていると、逆に8割程度のものや、最低制限価格が設定されていない案件ではさらに低い落札率になっているものもあります。一方で、99%や100%といった高い落札率の案件については、どの分野で、どの会社が落札しているのか、私自身でも確認したいと思っています。市役所内には入札等審査会があり、入札状況をチェックする機関ですが、私はそこには入っていません。政治家として業者に近い立場にあるため、審査プロセスに関与するのは適切ではないと考えています。ただ、疑義が生じないようなチェック体制を構築することは重要だと思っていますので、通常のチェックから改めて取り組んでいきたいと考えています。もう一点、地元業者の応札が少ないという点についても、私自身問題意識を持っています。元気な地元業者がいることで、地域全体が活性化しますし、災害時などには地域の事業者が助けてくださる場面もあります。たとえば雪が積もった際には、地元業者が除雪をしてくださるなど、地域に根ざした支援が可能です。そのため、地元本店を置く業者が参加しやすく、仕事が回りやすいような入札制度の改革についても、現在検討を進めているところです。</p>	—	財政課
産業・農業	20	森林の保全・活用について	共通	<p>印西市の土地利用を見てみると、田畑が4割、住宅が1割、山林が2割強あると思います。印西は、農村地帯と近代的な都市が融合している、とてもユニークな土地だと感じます。そこで伺いたいのですが、山林の活動に関して予算を考えているかどうか、その内容も気になるところで、今後、森林を市の資源としてどう活かしていくのかについて、市長のお考えをお聞かせしたいと思います。</p>	<p>森林や自然の利活用は、非常に重要な論点だと考えています。印西の魅力は、ニュータウンから里山や自然がすぐ近くにあることです。多くの市民の方が、そうした環境を求めてこのまちを選ばれているのではないかと思います。森林環境税もありますが、私は森の利活用こそが重要だと思っています。たとえば、草深い森では市民の皆さんが整備を進めてくださっていて、子どもたちが遊べるプレイサークルや音楽祭などの企画もあります。そうした場所で市民と自然の接点を作り、そこで生まれた収益を森の保全に活かすことができれば理想的です。また、伐採した木を細かく加工して活用したり、竹を炭にして稲作の肥料にするなど、他自治体でも実践されている事例があります。今は肥料を海外から輸入しているという課題もありますので、こうした活用は非常に有効だと考えています。森を守るためには、活用することが不可欠です。ニュータウン地域の住民の方々にも自然の恵みを感じていただけるようなまちづくりを進めていきたいと思っています。今年度から、庁内で手を挙げてもらう形で専門職員を募集し、1名を指名しました。その職員は、国立の環境研究所などで研究されている方々とも連携しながら、森や自然の活用についての構想づくりを始めています。まだまだ取り組みは不十分ですが、市民の皆さんに「いいな」と感じていただけるような活動を進めていけるよう、努力してまいります。</p>	—	農政課
インフラ・交通・防災	21	電柱の地中化について	小倉台	<p>電柱の地中化について全国的に話題になっていますが、小倉台地区ではいまだに電柱が残ったままで、電線と立木の枝が絡んで危険です。以前、埋設の話聞いたことがあるのに何の進展もなく、心配しています。さらに、イオン東口の歩道では立木の根が盛り上がりつつ危険です。私自身転倒して怪我をしたこともあり、早めの改修をお願いします。</p>	<p>電柱の地中化については、災害時の安全性などの観点から、進めていくべきだと考えています。ご指摘の小倉台やアルカサル付近についても、改めて確認させていただきます。イオン東口の歩道の根の盛り上がりについても、改めて確認させていただきます。</p>	—	土木管理課
インフラ・交通・防災	22	自転車専用通路について	小倉台	<p>自転車専用通路について疑問があります。現状、歩道には人がほとんどいないのに、自転車は車道を走らないといけない。全国でも整備が進んでいないと聞きますが、市としてどう考えているのか伺いたいです。</p>	<p>自転車の通行に関するご意見は、別の会でも同様のコメントをいただいています。ルールが変わるという話も伺っていますので、私も勉強していきたいと考えています。私も自転車で市内を回ることがありますが、歩道を走ることが現実的ではないという課題も感じていますので、今後の対応を検討してまいります。</p>	—	土木管理課
インフラ・交通・防災	23	信号のLED化について	小倉台	<p>信号のLED化について、西日が当たると電球式の見えづらく、早急に対応してほしいです。</p>	<p>信号機のLED化については、所管が警察になりますが、いただいたご意見はしっかりとお伝えさせていただきます。</p>	—	市民活動推進課
インフラ・交通・防災	24	タクシー利用の助成について	木刈	<p>タクシー利用の助成地域の拡大ということで、市街化調整区域に限るということになっていますよね。ご存じのように木刈地区は8割ぐらいの人が後期高齢者です。それでも、結局運転免許証をいつ返納するかという、私も家族から言われているんですけど、例えば今返納した途端に移動の問題が起こるんですよね。調整区域に限るのをもう少し広げてもらえないかというお願いです。</p>	<p>タクシー助成については、現在ニュータウン地域の方々を対象外となっている状況ですが、私としては新しい選択肢を提供できるようにしたいと考えています。台数の制約もありますので、デマンド型の新しい交通手段などをニュータウン地域で導入できないかを検討しているところです。</p>	—	交通政策課